Support Us

皆さまのご寄付が力になります。医療の未来を、ともに創りましょう。

高額寄付者の皆さまに紺綬褒章の伝達式と感謝状贈呈式を行いました

当院に多額の寄付をいただいたクオール株式会社様に、大鳥病院長から「紺綬褒章」を伝達し、株式会社スギ薬局様に感謝状と記念品を贈呈しました。「紺綬褒章」とは、国の報奨制度の一つで、公益のために私財を寄付された方に授与されるものです。本学は、内閣府賞勲局より、「紺綬褒章」の公益団体認定を受けており、寄付者様のご意向を確認のうえ、本学から文部科学省に申請（その後文部科学省から内閣府へ推薦）しています。



（前列左から）株式会社スギ薬局 執行役員社長室長 小湊 英範様、
クオール株式会社 取締役社長 柄澤 忍様

〈当院へのご寄付のお願い〉

当院は、国立大学病院として高度医療を提供するとともに、地域医療の最後の砦としての役割を担っています。皆さまからのご寄付は、診療環境や医療資機材の整備、医療者の育成、新しい治療法や薬の開発などに使わせていただきます。

税制上の優遇があります（税負担を抑えながら社会貢献が可能です）

□ 個人の場合：所得控除の対象となります。　□ 法人の場合：寄付金額は全額損金算入が可能です。

当院へのご寄付は「千葉大みらい医療基金」で承ります。

ご寄付の方法など

cover 今号の表紙



千葉豪雨で当院のDMATが出動

8月13日に発生した千葉豪雨で、当院は災害対策本部を立ち上げ、断水や停電により機能不全に陥った山王病院（千葉市稲毛区）の支援のため、3チームを派遣して転院搬送を実施。11人の患者さんを受け入れるなど、災害拠点病院として医療提供体制の維持に努めました。当院には現在、医師16人、看護師14人、業務調整員15人のDMAT隊員が在籍しており、訓練などを行って迅速に対応できる体制を整えています。

message

患者さん向け通院支援アプリの運用を開始

通院支援アプリ「Medical Avenue（メディカル アベニュー）」とは

1 予約確認・変更申込

次回の予約日時をいつでもスマホで確認することができます。予約変更の申し込みもアプリから行えます。

2 診察・会計の呼び出し通知

診察室や会計への呼び出しをアプリから通知でお知らせします。モニターの前でずっと待つ必要がありません。

3 院内ナビゲーション

院内の次の行き先をアプリがガイドします。

ご利用方法

Step1 アプリをダウンロード
Step2 利用登録
Step3 利用開始

Android　iOS

「Medical Avenue」または「メディカルアベニュー」で検索

［発行］千葉大学医学部附属病院
〒260-8677 千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1
TEL：043-222-7171（代表）　Mail：byoin-koho@chiba-u.jp

千葉大学病院ホームページ
https://www.ho.chiba-u.ac.jp/
※バックナンバーをご覧いただけます

printed with CARBON ZERO ENERGY　SPA-230001-J
この印刷物は、Scope1,2のGHG排出量が実質ゼロで稼働するカーボンゼロエネルギー工場で印刷しています。

本誌に掲載されている内容の無断転載、転用および複製等の行為はご遠慮ください。

千葉大学病院ニュース　人間の尊厳と医療の調和を目指して

TAKE FREE
ご自由にお取りください



いのはなハーモニー

Harmony

78
2026.SEP.

特　集　高血圧治療の最新事情　／　CLOSE-UP　小児外科



千葉豪雨に出動したDMAT隊員たち（詳細は裏表紙へ）

特集

高血圧治療の最新事情

高血圧は、日本国内に4,000万人以上いるといわれる身近な病気です。
自覚症状が少ない一方で、脳卒中や心筋梗塞などの重大な病気につながることがあります。
高血圧には、生活習慣や体質などが関係する「本態性高血圧」と、病気が原因となって起こる「二次性高血圧」があります。



循環器内科
齋藤 佑一医師

高血圧になると



血圧が高い状態が続く



血管に負担がかかる

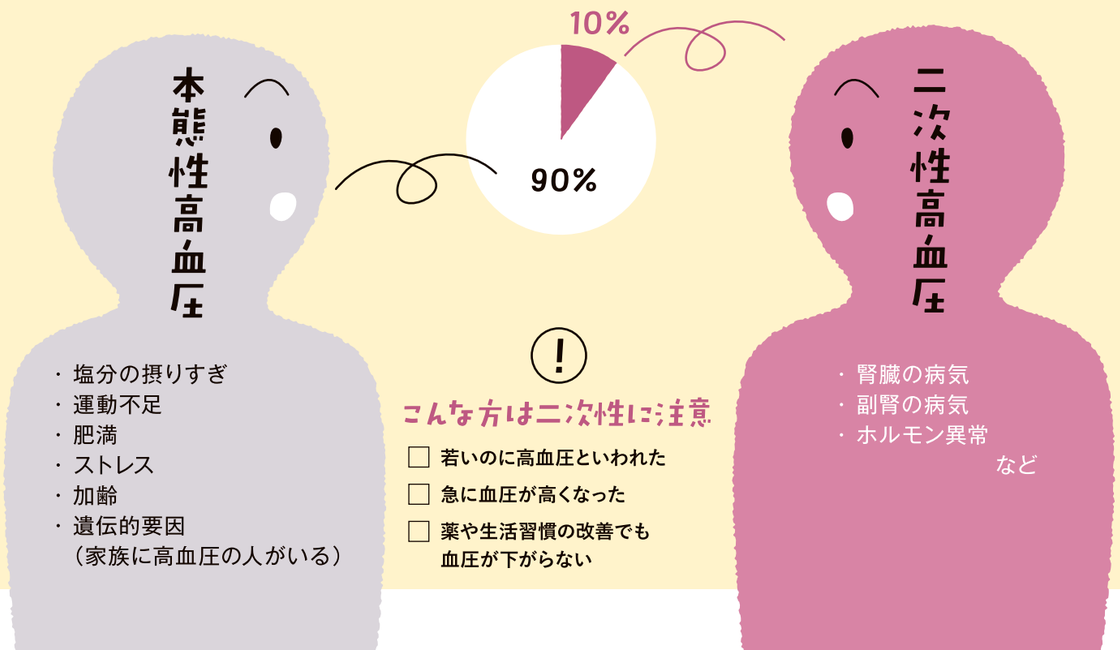


脳卒中や心筋梗塞など重大な病気につながる

原因が見つかる高血圧もあります

本態性高血圧 と **二次性高血圧**

高血圧の約9割は、生活習慣や加齢、体質などが関係する「本態性高血圧」です。一方で約1割は、腎臓や副腎の病気、ホルモン異常などが原因となる「二次性高血圧」です。本態性高血圧は原因がはっきりしないのに対して、二次性高血圧は原因となる病気が隠れていることが特徴です。発見が難しいこともありますが、適切な診断によって原因がわかれば、それに応じた治療が可能です。当院では循環器内科を中心に、糖尿病・代謝・内分泌内科、腎臓内科、泌尿器科、脳神経外科などが連携し、診断から治療まで一貫して対応しています。



こんな方は二次性に注意

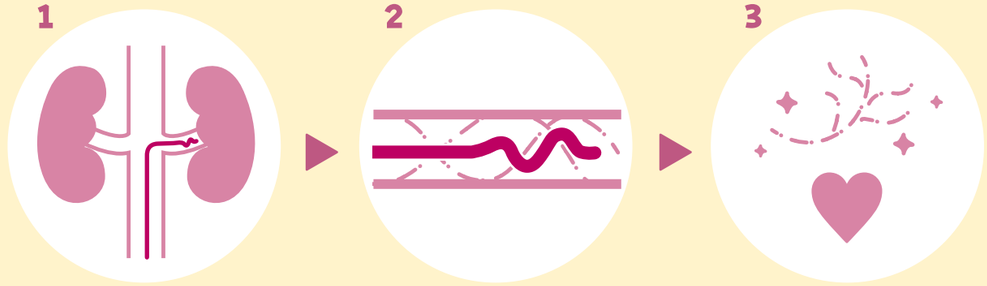
- ☐ 若いのに高血圧といわれた
- ☐ 急に血圧が高くなった
- ☐ 薬や生活習慣の改善でも血圧が下がらない

高血圧の標準治療

高血圧の原因には、塩分の摂りすぎや運動不足、肥満などがあります。そのため高血圧治療では、まず減塩や適度な運動などの生活習慣改善に取り組みます。それでも十分な効果が得られない場合には、患者さんの状態に合わせて降圧薬による治療を行います。当院では、医師による診療に加え、管理栄養士による栄養指導や運動指導など、多職種が連携して血圧管理をサポートしています。しかし、それでも効果が得られない場合があります。

新たな治療選択肢 腎デナベーション

そこで新たな選択肢として注目されているのが腎デナベーションです。腎臓周囲の交感神経に働きかけることで血圧の低下を目指す治療で、2026年3月に保険適用となりました。当院でも2026年4月から実施しています。



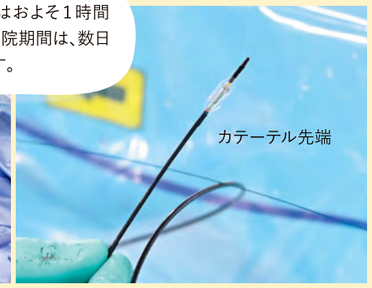
1 カテーテルを腎動脈に挿入します

2 カテーテルから、高周波や超音波などで、腎臓周囲の交感神経に働きかけます

3 神経の過剰な働きが抑えられ、血圧の低下が期待できます







よくあるQ&A

誰が対象？

一般的には、生活習慣の改善や複数の降圧薬による治療を行っても血圧が十分に下がらない患者さんが対象となります。ただし、適応には条件があるため、医師による評価が必要です。

薬はいらなくなる？

患者さんによって異なります。治療後も薬を継続する場合がありますが、薬の量や種類を見直せる可能性があります。治療方針は、血圧の状態をみながら判断します。

一度治療すればOK？

腎デナベーションは、現在のところ一生に一度の治療として行われています。ただし、高血圧の管理は継続して行う必要があります。

CLOSE-UP

未来につなぐ小児外科

小児外科の役割は、手術して終わりではありません。
生まれる前から成人期まで、子どもたちの成長に寄り添いながら、
未来へつながる医療を届けています。

小児外科の
詳細はこちら

胎児期

いのちをつなぐ

おなかの赤ちゃんに病気が見つかることがあります。産科・小児科と連携し、出生後の治療を見据えたサポートを行っています。





新生児期

小さな命を守る

食道閉鎖症や鎖肛など、生まれつきの病気を持つ赤ちゃんの治療は小児外科の大切な役割で、手術後も継続的なフォローが欠かせません。NICUと連携しながら命を守ります。





乳幼児期

健やかな成長のために

鼠径ヘルニアや停留精巣などは比較的多い病気ですが、成長への影響や生活の質（QOL）も考えながら、一人ひとりに合った治療を行っています。





お腹の中にいた頃から診てきた子どもたちが大人になっていく姿を見守り、その成長に関われることは、小児外科医ならではのやりがいです。

小児外科 科長
菱木 知郎 教授



子どもは小さな大人ではありません

子どもの身体は、大人と同じように治療できるものではありません。成長とともに体の大きさや機能が変化し、病気の現れ方や必要な治療も異なります。そのため小児外科では、目の前の病気だけでなく、その先の成長や生活の質（QOL）も見据えながら診療を行っています。

また、学童期から継続して治療が必要な患者さんにとって、青年期から成人期への移行は大きな節目です。千葉大学病院では、必要に応じて成人診療科と連携しながら、切れ目のない医療の提供を目指しています。

子どもが成長するにつれて、ご家族の悩みや不安は変化していきます。小児外科では、病気や手術の相談だけでなく、日常生活に関する相談やケアの指導なども行い、患者さんとご家族を長く支え続けています。

学童期

成長を支える医療

学童期は学校や友人との関わりが広がる大切な時期です。大学病院ならではの専門性を生かし、希少疾患や高度な治療が必要な病気にも、複数の診療科と連携しながら対応します。



青年期

未来を見据えて

成長に伴う心身の変化に配慮しながら診療を続けます。将来の妊娠・出産の可能性を守る妊孕性温存療法など、多職種が連携した支援にも取り組んでいます。



当院は千葉県から「千葉県がん・生殖医療相談支援センター」の指定を受け、小児・AYA世代のがん患者さんを対象に妊孕性温存療法の情報提供を行っています。

同センターの
詳細はこちら

未来の選択肢を守る
治療もあるんだ…！



成人期

その先も見守る

小児期から治療を続けてきた患者さんが安心して成人医療へ移行できるよう、当院は千葉県から「千葉県移行期医療支援センター」の指定を受け、サポートしています。必要に応じて成人診療科と連携し、その後も見守り続けます。

同センターの
詳細はこちら

なんでもQ&A

「男性更年期」

うつ症状のある患者さんの中には、調べてみたら男性更年期障害であった方もいます。抗うつ薬で良くならない場合、ホルモン値を調べることも重要です。

泌尿器科
田村 貴明 医師



近年、男性にも更年期があることが明らかになってきました。
単なる不調や年のせいだと片づけず、一度相談してみましょう。

── 女性と共通しているところ、違うところは？

症状はほぼ共通していますが、現れ方に違いがあります。女性は身体症状が出ることが多いですが、男性は意欲の低下などの精神面の不調を訴える方が多いです。また、女性は閉経前後に症状が出やすいのに対し、男性は40歳ごろ以降、ストレスや生活習慣の影響でいつでも起こります。

── うつ病と似ていますか？

気分の落ち込みやだるさなど共通する症状が多く、明確な区別は非常に難しいことがあります。男性ホルモンの値が低下していたり、精神疾患がなかった人が急に元気がなくなったりした場合は、男性更年期障害であることがあります。

── 受診の目安はありますか？

「AMSスコア」というチェックリストでセルフチェックが可能です。中等度以上であれば受診が推奨されます。

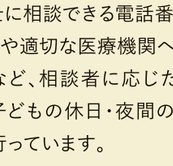
また、環境の変化や病気などをきっかけに、急にやる気がなくなった、性格が変わったなどの変化があれば注意が必要です。



── どのくらいの間隔で通院が必要ですか？

軽症の場合は、生活習慣の改善やカウンセリング、漢方薬などで対応します。3か月ほどあれば効果が見え始めます。

重症の場合は、月1回程度の通院でホルモン補充療法を行い、3～6か月経過を見ます。その後は通院間隔や、補充量を調整していき離脱を目指していきます。



── 千葉大学病院ならではの強みはありますか？

ホルモンに詳しい医師が多く、他科との連携が充実している点です。男性更年期に似た症状を示す他の病気との見極めも重要になるため、専門医がそろっている環境は大きな強みです。

── 患者さんや一般の方へメッセージをお願いします。

更年期はネガティブに捉えられがちですが、「年を更める（あらた）」と書くように、体と心の変化を受け入れ、次の段階へ進む時期ともいえます。気になる症状があれば、一人で悩まず、医療機関に気軽に相談してみてください。

チェックリスト（AMSスコア）

1	総合的に調子が思わしくない
2	関節や筋肉の痛み
3	ひどい発汗
4	睡眠の悩み
5	よく眠くなる、しばしば疲れを感じる
6	いらいらする
7	神経質になった
8	不安感
9	からだの疲労や行動力の減退
10	筋力の低下
11	憂うつな気分
12	「絶頂期は過ぎた」と感じる
13	力尽きた、どん底にいると感じる
14	ひげの伸びが遅くなった
15	性的能力の衰え
16	早朝勃起（朝立ち）の回数の減少
17	性欲の低下

なし……1点
軽い……2点
中等度……3点
重い……4点
非常に重い……5点

合計
17～26点：なし
27～36点：軽度
37～49点：中等度
50点以上：重度

出典：LOH症候群-加齢男性性腺機能低下症候群診療の手引き
表1-3 HeinemannらによるAging males' symptoms（AMS）スコア

Q. 救急車を呼ぶか迷ったら相談できる電話番号は？



❶ 119
❷ 117
❸ #7119

答えは❸です。

#7119は「救急車を呼ぶべきか」「病院に行った方がいいか」など、判断に迷ったときに医師や看護師、救急救命士に相談できる電話番号です。応急手当に関する助言や適切な医療機関への案内、119番通報への転送など、相談者に応じた対応を行っています。なお、子どもの休日・夜間の症状の電話相談は#8000で行っています。



いのはなINFORMATION

01

千葉豪雨被害へのご支援に感謝 災害に強い病院づくりに向けて

8月13日の千葉豪雨で当院の排水処理設備が冠水し、手術器具などの洗浄・滅菌業務に支障が生じ、手術制限が2週間続く事態となりました。患者さんとご家族、地域の皆さまには大変ご心配をおかけしました。また、この間、緊急手術に対応できるよう、医療機関や委託先各社の皆さまに洗浄・滅菌のご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。この経験をもとに、当院は災害対応力の向上に取り組み、皆さまに安心して受診いただける病院づくりに努めてまいります。



他の医療機関などに滅菌処理をしていただいた器具を使って緊急手術に対応しました

02



手術を受ける子どもたちに ラジコンカーが寄贈されました

手術に向かう子どもたちの不安を軽減したいと、当院に通う患者さんからラジコンカーを手術部に寄贈いただきました。手術前の子どもたちが気持ちを少しでもリラックスさせられるよう、車に乗ってライトを付けたり音を出したり、遊んでから手術室へ向かいます。

03



消防学校の訓練に参加しました 災害拠点病院として対応力を強化

7月2日、千葉県消防学校の救急科による総合訓練に、当院DMATの隊員4名が参加しました。訓練では、「路線バスの多重衝突事故」と「トンネル内の多重衝突事故」を想定し、トリアージや応急処置を行うとともに、傷病者情報の集約や搬送先の医療機関の調整などを行いました。

04



（左から）花岡英紀 臨床試験部長、大鳥精司 病院長、横手幸太郎 学長、中島裕史 副学長、本橋新一郎 ヒト免疫疾患治療研究・開発センター長

臨床薬理センター開所式を行いました 基礎研究から治験を担う拠点が誕生

7月31日、臨床薬理センターをひがし棟6階に開所しました。当センターは、早期臨床試験である第Ⅰ相臨床試験を実施するための研究参加者エリアと、収集した検体の処理・保管を行う検体管理エリアで構成されています。当センターの整備により、本学における基礎研究から臨床研究への開発プロセスを一貫して推進する体制が一層強化されました。

05



人命救助にあたった手術部看護師たち

JR千葉駅で人命救助に貢献 当院看護師3名が連携して心肺蘇生

7月24日、手術部看護師3名がJR千葉駅で心肺停止状態の傷病者に遭遇し、連携して迅速かつ適切な心肺蘇生処置を実施し、救助に貢献しました。対応した看護師は「経験を生かし、対応ができてよかったです」と話しました。当院は、今後も地域社会の一員として市民の安心と安全を支えてまいります。